

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 1 日

事業所名 コペルプラス 安倍川 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	②	職員の配置数は適切である		5		・契約数に応じた職員配置数が合っていないので、改善できるよう努力します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・非常口の掲示はお子様の目の高さになるようにしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・レッスン後に引き続きプレイルーム等の清掃を行っている。	・すぐにゴミを捨てられるように倉庫内にもゴミ箱を設定しました。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			・日ごろから風通しの良い環境で話し合えるように配慮しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・実施できることはすぐに実施しました。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		・研修の時間は全体的に少ないので、今後研修時間を確保していきます。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1		・丁寧且つ適切に行い、支援計画に落とし込めるようにしていきます。

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・保護者との話し合いや相談の中でしっかり伝えており、実施している。	・今後も時間を有効に使い丁寧に対応していきたいと思えます。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			・必要に応じて見直しもしていきたいと思えます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・指導員等が話し合いながら実施している。	・書籍等を用いて発達に合った楽しく活動が出来るよう今後も協力していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・子供の状況に応じて対応することの大切さを確認し合っている。	・意見交換をしながら、プリントや利用児さんの興味に即した課題が出来るようにしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・個々の必要性に応じて個別と集団を組み合わせている。	・集団への個別のお誘いをし、適切な療育となるようにしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・粗大の時間を決めたり子どもの状況に応じて仮説を立てたり柔軟に対応できるようにしている。	・時間を決めていても、レッスンが始まってからの状況に応じて柔軟に対応していけるようにしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・大切なことなので話し合い共有している。	・口頭共有後、書類に記入等して漏れのないようにし改善しました。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		モニタリング作成時など日々の記録は大変参考になっている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		個々の課題について話し合い、継	

					続・修正等を検討している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児発管が参加している。来室して話し合ったり、電話や ZOOM 会議等で実施している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・関係機関とは必要に応じて密に連絡を取り連携している。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象児はいない
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象児はいない
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		必要に応じて利用者が通っている園との連携や関係機関をも連携し共有している。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		・現在あまり実施していない。 ・今後連携が取れるようにしていく必要があるので計画していきたいと思います。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		・必要に応じて連携し助言や研修を受けている。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1		・一緒に活動する機会がない為、検討していきたいです。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	・児発管が参加している。	

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3		・実施できていないので、検討していきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・今後も書類を提示しながら取り組んでいきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			・お時間をつくっていただきながら丁寧に説明をして取り組んでいきます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・具体的に話す機会を設けており、同意を持っている。	・日ごろからお話をしながら、話しやすい環境作りを心掛けていきます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2		・保護者様同士のつながりが持てるような計画を検討していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		・コミュレのご案内は書面にて発行していますが、発効前に定員になってしまうこともあるため、定期的に出ていない状況です。お知らせができるような工夫をしていきたいと思えます。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・話し合う時は常に配慮している。	
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		・消防車体験時は近隣の保育園の	・一回実施できたので、イベント等でまた連携が持てるようにしていきたいと思えます。

					園児と職員が参加した。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・職員は 119 番通報、消化訓練等を実施した。	・後期も実施できるように計画をします。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・わかりやすいように視覚教材を用いています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・日々の話し合いの中で共有している。	・すぐに共有しながら、改善策を検討しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・虐待に関する会議、研修を行っている。	・今後も話し合い研修をしていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・個別支援計画にも記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。